

平成27年第1回

# 伊根町議会定例会会議録

平成27年3月12日（第2号）

伊 根 町 議 会

# 平成27年第1回（定例会）

## 伊根町議会 会議録（第2号）

招集年月日	平成27年 3月12日 木曜日						
招集場所	伊根町コミュニティセンター ほっと館 ふれあいホール						
開閉の日時 及び宣告者	開会	平成27年 3月12日 9時28分			議長	泉 敏夫	
	散会	平成27年 3月12日 13時44分			議長	泉 敏夫	
応（不応）招 議員及び 出席並びに 欠席議員	議席番号	氏名	出欠	議席番号	氏名	出欠	出席 9名 欠席 0名
	1	和田義清	○	6	大谷 功	○	
	2	藤原正人	○	7	佐戸仁志	○	
	3	濱野茂樹	○	8	上辻 亨	○	
	4	松山義宗	○	9	泉 敏夫	○	
	5	山根朝子	○	10			
地方自治法 第121条 の規定によ り説明のた め出席した 者の職氏名	職	氏名	出欠	職	氏名	出欠	出席 12名 欠席 0名
	町長	吉本秀樹	○	保健福祉課長	須川清広	○	
	副町長	小西俊朗	○	地域整備課長	白須 剛	○	
	教育長	石野 渡	○	総務課主幹	石野 靖	○	
	総務課長	鍵 良平	○	地域整備課主幹	泉 吉広	○	
	企画観光課長補佐	千賀和孝	○	教育次長	梅崎 良	○	
住民生活課長	上山富夫	○	会計管理者	倉 正人	○		
職務のため 出席した者 の職氏名	議 会 事務局長	前野義明	○	主 査	今岡敬雄	○	
					昇 うた	○	
会議録 署名議員	3番	濱野茂樹		7番	佐戸仁志		
議事日程	別紙のとおり						
会議に付 した事件	別紙のとおり						
会議の経過	別紙のとおり						

# 平成27年 第1回 伊根町議会定例会

## 議事日程 (第2号)

平成27年3月12日(木)

午前 9時28分 開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 議案第2号 平成27年度伊根町一般会計予算  
(質 疑)
- 日程第 3 議案第3号 平成27年度伊根町国民健康保険特別会計予算  
(質 疑)
- 日程第 4 議案第4号 平成27年度伊根町簡易水道特別会計予算  
(質 疑)
- 日程第 5 議案第5号 平成27年度伊根町下水道事業特別会計予算  
(質 疑)
- 日程第 6 議案第6号 平成27年度伊根町財産区特別会計予算  
(質 疑)
- 日程第 7 議案第7号 平成27年度伊根町介護保険特別会計予算  
(質 疑)
- 日程第 8 議案第8号 平成27年度伊根町訪問看護事業特別会計予算  
(質 疑)
- 日程第 9 議案第9号 平成27年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算  
(質 疑)

## 会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 議案第 2 号 平成 27 年度伊根町一般会計予算  
(質 疑)
- 日程第 3 議案第 3 号 平成 27 年度伊根町国民健康保険特別会計予算  
(質 疑)
- 日程第 4 議案第 4 号 平成 27 年度伊根町簡易水道特別会計予算  
(質 疑)
- 日程第 5 議案第 5 号 平成 27 年度伊根町下水道事業特別会計予算  
(質 疑)
- 日程第 6 議案第 6 号 平成 27 年度伊根町財産区特別会計予算  
(質 疑)
- 日程第 7 議案第 7 号 平成 27 年度伊根町介護保険特別会計予算  
(質 疑)
- 日程第 8 議案第 8 号 平成 27 年度伊根町訪問看護事業特別会計予算  
(質 疑)
- 日程第 9 議案第 9 号 平成 27 年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算  
(質 疑)

## 会 議 の 経 過

平成27年3月12日(木)  
午 前 9時28分 開議

### ◎ 開会・開議の宣言

○議長(泉 敏夫君) それでは、おはようございます。本日は、ご苦労さんでございます。

初めに、保健福祉課長から、お手元の資料の配付の説明がありますので、これを許します。須川課長。

○保健福祉課長(須川清広君) 皆さん、おはようございます。

一昨日の全員協議会の場所におきまして、新年度からの保育料についての資料の提供をということで求められていましたので、資料のほうを配付させていただいております。その資料の説明のほう、させていただきます。

まず、1枚目のカラー印刷の部分でございます。

保育料の算定の考え方についての資料でございます。

まず、3歳未満につきましては、保育の標準時間10時間と短時間8時間の料金がございます。その保育短時間の部分について、伊根町は保育料として制定しております。まず、非課税世帯についてはゼロ円と国基準となっておりますが、それはそのままゼロ円、あと国の定める基準の半額を伊根町の保育料ということで採用させていただいております。

続きまして、3歳以上でございます。3歳以上につきましても、保育標準時間と短時間の標準が示されておりますが、保育短時間のほうの国基準を半額ということで全階層で制定させていただいております。

また、7、8につきましては、保育短時間の半額とすると、前の保育料より上がるという現象が発生しました。ということで、前回の料金の同額を据え置きと、7階層、8階層についてはしております。

2枚目の資料をごらんください。

これが3歳未満児の保育短時間、伊根町の保育料の新旧対照表でございます。

第1階層についてはゼロ円がゼロ円、第2階層8,000円でしたのが4,500円ということでマイナス43.8%の減としております。第3階層は1万6,000円が9,600円、第4階層については2万3,000円が1万4,800円、それぞれ国基準の半額とさせていただいております。

次のページをごらんください。

3歳以上児の保育料金でございます。それぞれの階層を国基準の半額としております。第2階層でしたら5,000円を3,000円ということで40%の減額となっておりますが、7階層、8階層については現料金を据え置きという形で保育料のほうを決定させていただいております。

以上、資料の説明とさせていただきます。

○議長(泉 敏夫君) ただいまの出席議員は全員です。

これから直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

### ◎ 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長(泉 敏夫君) 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定によって、議長において

3番、濱野茂樹君

7番、佐戸仁志君を指名いたします。

### ◎ 日程第2 議案第2号

○議長（泉 敏夫君） 日程第2、議案第2号 平成27年度伊根町一般会計予算を議題とし、これから質疑を行います。

なお、質疑は、慣例により歳入全般を一区切り、歳出の1款議会費から4款衛生費までを一区切り、5款労働費から8款土木費までを一区切り、9款消防費から14款予備費までを一区切り、合計4区切りとします。よろしくお願ひします。

また、十分審議が尽くされるよう、27年度全会計予算議案の質疑の回数は、事情が許します限り制限しないこととしたいと思います。これに異議はありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。平成27年度全会計予算議案の質疑の回数は、事情が許す限り制限しないことと決定しました。十分な審議が尽くされることを期待します。

初めに、一般会計予算の歳入全般を対象として質疑を行います。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） おはようございます。

保育料について、いま一度説明のほうを求めたいというふうに思うわけですが、当初予算では577万4,000円、こちらについては、新たな新しい保育料のほうの算定にはなっていないという説明であったと思います。

これについて、新しいこの保育料金額に積算し直した場合、どのぐらいの金額になるのか、また他市町村の保育料の見直しを議会のほうで上程されておりますが、他市町村の状況、金額設定について、こちらについても説明を求めます。また、この階層区分ごと、平成27年度において、何名の方が大体対象になるのか、それについての説明を求めます。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 説明させていただきます。

新料金での料金575万4,600円でしたが、新しい料金体制では400万9,200円を見込んでおります。差額については173万6,000円でございます。

○議長（泉 敏夫君） 休憩します。

休憩 9時36分

再開 9時38分

○議長（泉 敏夫君） 再開します。休憩前に引き続き会議を開きます。

須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 階層ごとの区分でございます。伊根町では、来年、2階層に6人、3階層に13人、4階層に16人、5階層に7人、6階層に1名ということで試算しております。7・8階層については、当町では見込んでございません。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） となりますと、近隣では、平均では伊根町の保育料が一番安いだろうという理解でよろしいですか。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 現在伺っている段階では、階層ごとに、階層区分が多いところでは12とかございますんで、それで多少のばらつきがありますが、ほとんどの階層で伊根町が安いものと考えております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 今回の保育料の軽減された理由というのは、保護者負担の軽減、あとほかにも何かしらの軽減に当たってのビジョンといいますか、こういうことがあって軽減に踏み切ったんだよという、その辺の話がもしあれば、町長さんのご所見をお伺いしたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 吉本町長。

○町長（吉本秀樹君） これはもう、我が町の少子化に対する子育て支援、それでありませう。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 子育て支援ということでございますが、そのほかに、例えばこれを機に、教育費も無償化に13カ月予算でもなった分もあります。今回の当初予算でも、教材費とかその辺が無償化の提案がされているわけですが、これを機に定住促進とか、そういった面についてのお考

えはあるのかどうかお伺いいたします。

○議長（泉 敏夫君） 吉本町長。

○町長（吉本秀樹君） 定住促進という意味もございますね。我々、いつも言っているんですけども、他の市町よりもうちの町がいいんだと、これだけうちの町の制度なり支援、子育て支援、町全体としての子供を育てるそういう支援が充実しておるんだということは言いたい。そういうことが定住促進につながってほしいけれども、つながるともなかなか言い切れないんですね。

前も言いましたように、大きな市町があつて、その真ん中あたりに我が伊根町が存在しているのなら、そういう制度を導入すると、ごいごと周りから集まってきますね、安い住宅も建てて。だけれども、いろんな仕事の関係とか、いろんなことがございますね、諸所の状況が。やっぱり、外れのほうでは、そういったものをしたからといって、人がやってくるという、そういうことには、ううん、つながるかどうかは甚だ問題があります。

しかしながら、そういう思いも確かにございます。ただただ、それがつながる、だからやるんだというふうには考えてはおりません。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑ありませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 我々も、少なからずそういったことを期待しているわけでございますので、できましたら広く、伊根町、こういった取り組みを積極的にやっているんだと、当初予算の記者会見でも大きく新聞の見出し、またネット関係でも取り上げられておりました。

引き続き、こういった取り組みについて、広く広報・啓発のほう、していただくようお願いしたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はございませんか。6番、大谷功君。

○6番（大谷 功君） 18、19ページの13款使用料及び手数料 6目土木使用料の町営住宅使用料です。

25年度決算におきましても26年度予算におきましても、1、800万円程度上がっておるわけですが、400万円程度、今回落ち込んでおるわけですが、これの要因というのを教えてくださいたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 町営住宅のほぼ400万円の減額の要因です。これについては、空き家が多くなっているという状況で、前年度並み、約400万円の減額となっておりますが、現時点でそこから4戸ぐらい、3月で埋まっておりますので、もう少し実際の収入は上がってくると思いますが、これの倍ぐらいの空き家があったということで、その時点での計算ということにしておりますので、前年度より下げた格好での収入見込みを計上しております。

○議長（泉 敏夫君） 6番、大谷功君。

○6番（大谷 功君） それでは、各住宅の空き家数というのを、また後でよろしいので、また提示をお願いします。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はありませんか。1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） すみません。同じく19ページの使用料及び手数料の民生使用料のいきいき交流施設の使用料3万2、000円ですが、これは具体的にどこの使用料になるのか、ちょっと教えていただけますか。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） いきいき交流施設使用料につきましては、筒川の本坂にございませぬいきいき交流ハウスの使用料となっております。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） その使用料は、冬の独居老人の方々の使用料も含まれておりますね。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） はい、冬季の入所の使用料も見込んでございます。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はありませんか。2番、藤原正人君。

○2番（藤原正人君） 火葬場の使用料なんですけれども、昨年は何件ぐらい利用されたんですか。年々減ってきてるのか、ちょっとお聞きしたいんですけれども。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 平成26年度、今年度の現在の状況で11件程度の利用となっております。

○議長（泉 敏夫君） 2番、藤原正人君。

○2番（藤原正人君） 年々、やっぱり使用件数は減ってきておるんですか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） はい、おっしゃいますとおり、年々使用件数は減ってきておる状況でございます。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 本予算書23ページの衛生費の府補助金、これの主な減額要因と、次のページの25ページの農林水産業費の府の補助金の増額要因の主な事業をちょっと教えていただけますか。

○議長（泉 敏夫君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 衛生費の減額要因でございますが、避難施設等緊急時電力確保促進事業が平成26年度には収入で計上してございました。これがなくなりましたことによる減額が主な要因でございます。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 農林水産業費の府補助金の増額要因でございます。新規事業としまして、需要対応型特産物生産支援事業補助金、これと集落営農発展型農場づくり事業補助金、これで約1,000万円ほど新規事業として増額しております。

また、多面的機能、もとの農地・水・環境保全対策事業でございますが、これにつきましても、府補助金も一緒に入ってきてお支払いすることになったことから、これもふえておりますので、それらで1,400万相当の増額となっております。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はありませんか。白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 先ほどの大谷議員の住宅の現在の空き家数につきまして、答弁保留しておりましたので報告させていただきます。

現在、伊根町の公営住宅等の空き家総数は6戸となっております。内訳につきましては、日出の単身住宅が1戸、井室の単身住宅が1戸、本庄宇治の特定公共賃貸住宅が1戸、筒川本坂団地が3戸となっております。

現在、まだこの中で何件か相談を受けておりますので、今月中にもう少し入居が埋まる予定としております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 町営住宅使用料で、先ほどのあきの戸数6戸、本坂については、かなり以前からもうあきが続いている状況というふうに思うわけなんです、収入確保のこと等考えると、公営住宅法の絡みで住宅料を下げるとかといったことはなかなか難しいのかもわからないんですけども、何らかの手だてが必要になってきているのではないかなと思うんですが、その辺の認識はいかがでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 本坂団地につきましては、もうこの3戸はずっと埋まらずに、増減もなく空き家の状況でございます。使用者がいないということで、なかなか傷みも早くなるというおそれもありますので、何とか、入居の相談があったときに、本坂でもいい人は優先的に入れさせていただきたいと思いますが、やっぱり現地を見ますと、どうしても一番条件不利地域的な思いが、入居希望される方もおられまして、ほかのところから埋まるのが現状でございます。

ただ、それに対して、家賃のほうの設定ですけれども、これにつきましては、住宅法で建てた家賃でございますので、収入に応じた、あとは耐用年数とか建物の広さとか、そういうことでも決定しておりますので、これを半額にするとか8掛けにするという町長の裁量は今のところ認められていないのが現状です。

安くしたから来るかという、そこもちょっと疑問はあるんですが、ただ空き家というのはやっぱり



り何も生みませんし、負の遺産となりますので、有効活用といたしますか、違う使途でも、いきいき交流ハウスでは冬の間に住んでいただいている方もおられますし、そういうような別の、購入者目的の短期的な活用とかもちょっと目指していきたいと考えております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） ぜひ積極的に埋めていただくようお願いしたいのと、あと、毎年のように滞納されているといいますかという方もいらっしゃると思うんですね。そういった場合には、新たな、善良なという言い方はちょっと失礼かも知れませんが、方に入っていただくというようなことも考えていかなければ、町として取り組んでいかなければならないのかなというふうに思うんですが、そのあたりはいかがでしょう。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 毎年、決算時期に滞納で繰越金が発生しておりますが、この方々につきましては、何とか翌年に、少しおくれますが、その分は納めていただいておりますということで、火の車のような、そういうような状態の入金状況でございますが、3カ月以上滞納すると退去命令出せます。ここまではならないような形の収入をしていただいておりますということで、これが滞るようでしたら退去命令も出せますので、そこまではいっていないという状況でございます。

○議長（泉 敏夫君） 質疑はありませんか。それでは質疑がないようでありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、歳出1款議会費から4款衛生費を対象としての質疑を行います。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 85ページ、健康増進事業で、健康ポイント補助ということで事業増進ということで昨日お伺いしました。

これについて、幾らぐらいそういったものを受講なり受診すればそのポイントがたまって、町内で使える商品券でしたか、それにかわるというのは大体何回ぐらいを想定しているのかお聞かせ願います。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） まだ、その詳細には、検討しているところなんですけれども、商品券については500円程度の商品券を考えております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） これは、健診を受診した場合にポイントが付与される、それ以外に健康増進教室に行った場合にもポイントが付与される。大体何回で500円なのかというのは、わからないもんですか、まだ。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 現在、先ほどから申していますように、ちょっと検討しておりますので、詳細が決まり次第、また報告のほうさせていただきたいというふうに考えております。

○議長（泉 敏夫君） 2番、藤原正人君。

○2番（藤原正人君） 73ページのサロン型カフェの推進事業についてなんですけれども、今現在2カ所で寿茶屋が開催されているということなんですけれども、中で試験的に各地域で何か所かやられていますね。

それで、いろいろと話を聞く中で結構大変好評で、できたらうちの地元でもやってほしいという意見を聞きますので、それというのも、例えば介護をされておる方なんか、なかなか外へ出ることがないんですけれども、そういう場に出て気分転換ができると言われる方もおるし、やっぱり常になかなか集まって話をすることもできないという方も、そういう機会を利用して、みんなと一緒に人仲できるということが大変好評みたいなので、できたら、なかなか遠いところまで、ほかの地域まで出向いてというのはなかなか難しいと思うんで、できたらその各地域に、地元で開催できるように、早急にそういう開催ができるようにしていただきたいと思うんですけれども、大体めど的なものは、いつごろにそのほかの地区でもできるとかそういう、まだ決まってはいないんですか。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） サロン型カフェの質問でございますが、先ほど、おきなぎの家といきいき交流ハウスは固定型ということでやっております。

本年、さらに出前型ということで月4回程度を考えております。準備がかかると思いますので、早ければ4月早々と言いたいところですが、少し日程調整等を考えると、5月、6月ぐらいからの開始かなというふうに考えております。

箇所については、できるだけ細かく回れるような形はとりたいというふうに考えております。一昨年につきましては、本庄浜と新井崎等でも開催させていただいて好評だったということもありますし、その辺を踏まえて、また地域のほうは決定していきたいというふうに考えております。

また、介護されている方も参加できるようにというふうなことでございましたけれども、介護をされている方の家族交流いう事業もございますし、またその辺で案内のほうさせていただきたいというふうに思っております。

○議長（泉 敏夫君） 2番、藤原正人君。

○2番（藤原正人君） その中でいろいろと聞いておるんですけども、例えば座椅子が、試験的にやられておるとこなんですけれども、座椅子ができれば用意してほしいとか、それとまあこれはなかなか難しいことだと思うんですけども、寝たきりではないんですけども、高齢者の方でもう家から全然出ないという方もおまして、やっぱりそういう、うちの中で外へ出るように仕向けてもなかなか言うことを聞いてもらえないことがあって、できれば、例えば若い女性の方とかがどうだと声かけてもらったりしたら、ひょっとしたらうちのじいさんもそういうところへ出向いてくれるんじゃないかという希望を持ってられる方もおるんで、そういうケア的なもんもできれば、なかなか難しいことだと思うんですけども、ちょっといい知恵を絞っていただいて、そういう方面でもちょっと援助していただいたらと思うんですけども、できる範囲で考えていただいたらと思います。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） サロン型カフェにつきましては、認知症対策が主な目的ともなっております。閉じこもりについても目的とはしておりますが、その辺も踏まえて、また対応のほう考えていきたいというふうに考えております。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 39ページの防災無線設備管理運用費というところで、伊根地区の火事があったときに無線が聞き取りにくかったとか、また最近、災害とかそういったときにちょっと無線機が聞き取りにくいということを聞いておるんですが、原因とかいうのはわかっておられるんでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいま、防災無線の受信機あるいは送信システムの不調の原因ということでご質問をいただきました。

それで、実際の災害時のその送信体制なんですけれども、今回のように火災の場合ですと宮津与謝消防署の指令室から送信されます。そのときに、これは指令室の中の事情になるんですけども、実際にその119番通報を受けながら、各消防団員さんが持っておられる無線機、こちらのほうへの火点告知、それと防災無線による火点告知、それと電話による火点の告知、こういった関係を一気に行います。

それで、これを当直の職員が行うわけなんですけれども、その中で、防災無線ですと、例えばスイッチを入れてシステムの表示箇所を目視しながらそれを読み上げるということになります。録音したものでやるのではなくて現場でやっております。そのために、スイッチを入れてから実際に音声、送信職員が声を発するまでの間に10秒とか20秒、こういったあたりの時間が起こることがあります。これは、私も何度も経験があるんですけども、深夜ですとブチブチというような音が入ったりですとか、昼間でも何かしらガサガサ音がするんですけども、入りにくいと、それを皆さん感じられるんですけども、実際には声が出せていないという状況もあります。

そんな中で、なるべく正確、迅速、火点告知をしていくというのは非常に大切なことですので、このあたりを努めていかなければならないというふうに思っておりますが、何分今申し上げたよう

な事情でございます。

また、通常の放送といいますか送信も不具合があるのではないかとというようなことも聞かせていただきました。そんな中で、それぞれの戸別受信機に係る問題につきましては、お電話をいただきました際には担当職員がお伺いしまして、テスト電波を出しまして実際に確認いたしまして、受信機の不具合であるようでしたら交換を速やかにさせていただいております。

全体のシステムということになりますと、年に1回の定期点検等を行っております。今の状況では、特にメーカーのほうから不具合ということは聞いておりませんので、戸別受信機の問題であるということであれば、また役場のほうにご一報いただければ、それぞれ担当職員で対応させていただきたいと考えております。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） ここに修繕料で340万ほど上がっておるんですが、それに関するこれ修繕費なんですか。また、戸別の機械に関して、購入する場合は個人の負担が要るのか要らないのか、お願いします。

○議長（泉 敏夫君） 千賀補佐。

○企画観光課長補佐（千賀和孝君） 防災無線の修繕箇所につきましては、屋外子局のバッテリー交換が6局、菅野中継局の局舎の修繕が一式、それと移動系遠隔制御装置が1カ所という内訳となっております。

戸別受信機につきましては、各世帯1台目は無料です。2台目購入を希望される方につきましては、実費相当分をいただいております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 37ページ、行政共通事務費の一般事務ということで、期限付任用職員1名分の増というふうにお伺いしております。この職員については、どのような職を当たる予定なのか説明を求めます。

○議長（泉 敏夫君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいまご質問いただきました行政共通事務費の一般事務でございますが、平成26年度につきましても人事異動によりまして総務課の職員が1名減ってございます。その分を、教育委員会が職員が増となり、年度の途中で予算の組み替えをさせていただきまして、総務課のほうで職員を雇用させていただきまして、総務課の一般事務補助をさせていただいております。

この職員が、26年度は当初に予定がなく、27年度は26年度の途中で起こったことを当初の段階で計上させていただきまして1名増となっております。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 43ページの地域情報基盤維持管理事業ということで、光ファイバーをようやく伊根町にもやってくるということで、そういった中でアンケート調査のほうがあったと思うんですが、そのアンケート調査の結果といいますか、どのような状況だったのかお聞きしたいです。

○議長（泉 敏夫君） 千賀補佐。

○企画観光課長補佐（千賀和孝君） 現在の回収率ですけれども、回収率が約30%の回収をさせていただいております。

それで、現在、ADSL回線を引いておられる方で98%の方が、光が敷設された場合、光回線に移行してもいいという回答をいただいております。その他、現在はADSL回線を引いておられない方のうち77の方が、新たに光ファイバーが敷設された場合に光回線を導入してもいいという回答をいただいております。

現在、取りまとめ最中で、速報ということでご報告させていただきます。

○議長（泉 敏夫君） 7番、佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） すみません、同じ質問なんですが関連して、蒲入地区なんかは、私の聞いている限りでは、今現在、回線が少ないので使えない方が多いということで、大変いい事業だと思います。

それで、この光回線を使って、将来、アナログである伊根の防災無線をデジタル化するような計

画があるのかないのかお聞きしたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 鍵総務課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいま、現行のアナログ防災無線の代替システムを光回線を使ってできないか検討しているかというご質問でございますが、方法としてはあるのかなというふうに考えております。

それで、具体的な事業費につきましては、まだ積算はしてございません。実際にそれを行っていくかどうかという判断ができるほどの材料を持ち合わせていないというのが現在の状況でございます。実際に各世帯に、全ての世帯に、防災無線装置と同じ、受信装置のかわりになるものですから全世帯に敷設が必要となりますが、そういった場合の公費で敷設するのかご負担を願うのか、こういったあたりもございまして、それを公費で全てやっていった場合、防災無線システムはランニングコストとしては電気代ぐらいになるんですけども、光回線を使ったものになりますと通信料が発生するだろうというふうに考えております。こうした場合の費用負担の考え方、このあたりもまだ整理できてございません。

そういったわけで、技術的には可能だろうというふうには考えておりますが、実際に事業として取り組むかどうかということまでは、まだ検討が及んでいないというところでございます。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 関連でございまして、今回の光ファイバーの敷設については、インターネットを利用される方のためにまずは引くという理解でいいのかということと、あと機械器具費で90万6,000円の予算計上がされております。これについては、どのようなものを購入するための費用なのか説明願います。

○議長（泉 敏夫君） 千賀補佐。

○企画観光課長補佐（千賀和孝君） 光回線敷設の主たる目的としましては、伊根町の基盤整備というところが目的となりますので、主たる利用は差し当たってはインターネット利用が主になるかと思っております。

それで、90万6,000円の機器についてですけれども、光回線を導入していただいた方に対して「光BOX+」という機器を無償で配布しまして、光回線の敷設をいただく方を支援し、回線の普及率に努めたいという思いで計上させていただいております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） すみません、光BOX+がちょっとよくわからないんですけども、それについて説明をお願いしたいのと、あと敷設に当たって、個人負担は幾らぐらいかかるようなものなのか、もしお示しいただけるのであれば、その辺についてもお聞かせ願います。

○議長（泉 敏夫君） 千賀補佐。

○企画観光課長補佐（千賀和孝君） 光BOX+につきましてはですが、光BOX+は、その機械をテレビにつなげまして、テレビの上でホームページを見たりすることができるパソコンのかわりになるような機械のものです。

それで、個人負担につきましては、工事費については各家庭の事情で多少はあるものと思っております。通信費につきましては、年間6万円程度が個人負担になるものかと思っております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 光BOX+は備品ということの理解でいいということは、町の資産として各家庭に置かれるという理解でよろしいですね。

あともう一つ、加入率を35%以上というふうにお伺いしております。これ、加入率が、もし逆に加入率が割った場合、補助金というのはもっと必要になってくるのか、そのあたりを説明願います。

○議長（泉 敏夫君） 千賀補佐。

○企画観光課長補佐（千賀和孝君） 光BOX+につきましては、町の備品をお貸しするという考えでございます。

それから、加入率35%の件ですけれども、光の敷設は、まだ事業者のほうで事業化は決定はいただいております。町やその事業者を含めまして、加入率35%が確保できるということを前提

に事業化が決定いただけるということでございまして、町も加入促進に協力をしていきたいと思っております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） となりますと、具体的に光ファイバーが敷設されて運用開始になるというのは、今現在では到底、年度内にはいけるぐらいではなく、皆目見当がつかないという理解でよろしいのでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 千賀補佐。

○企画観光課長補佐（千賀和孝君） 想定なんですけれども、4月の時点で事業化の決定がいただければ、12月に基地局整備が終了できるというスケジュールになるようです。そこから各家庭への枝線の配線が始まるという工事のスケジュールになると伺っております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 12月で、それから各家庭への配線ができるとなると、まあその各家庭の事情にもよったりとか工事の進捗とかにもよると思うんですが、年度内にぎりぎりつながるかどうかという理解でよろしいですかね。

○議長（泉 敏夫君） 千賀補佐。

○企画観光課長補佐（千賀和孝君） 基地局からの整備につきましては、事業者のほうでどこの地区を取りかかられるかとかいう判断があるようですので、町のほうでいつと申し上げることは難しいかと思えます。

○議長（泉 敏夫君） 休憩します。

休憩 10時23分

再開 10時28分

○議長（泉 敏夫君） 再開いたします。休憩前に引き続き会議を開きます。

ほかに質疑はありませんか。8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 40、41ページの企画費のほうで、車両を購入されるということで全協のほうでもちょっとお話があったと思うんですが、ハイブリッドの4WD車を2台購入されるということをお聞きしておるわけですけれども、まだ車を更新するに当たりまして、電気自動車、町にもその電気設備が、充電設備も整ったわけですけれども、今後はそういった電気自動車を購入するというお考えはないのでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 倉会計管理者。

○会計管理者（倉 正人君） 今回は、町外へも充電器のないところへも出張によく使うようにするために電気自動車は選びませんでした。訪問活動車とか往診車は今後検討していきたいと考えております。

○議長（泉 敏夫君） 6番、大谷功君。

○6番（大谷 功君） 64、65ページの3款民生費 1項社会福祉費の社会福祉推進事業です。

福祉有償運送の補助金が、ことし、ここから消えとるわけですが、これはまた事業が別なところに行っただのか、もうなくなったのかというのが1点。

それから、68、69ページの3款民生費 4目高齢者福祉費の高齢化対策推進事業で、ここ数年、買い物支援バスを運行されて、その運転手の賃金等、ここで計上されとったわけですが、これも消えてなくなるとるんですけれども、どっか移動になったのか、それとももう事業を廃止されるのか、お聞かせ願いたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 石野主幹。

○総務課主幹（石野 靖君） ただいま、福祉有償の事業と介護支援の事業のことでご質問があったかと思うんですが、どちらの事業も3月補正で、交付金対象の事業として、13カ月予算といたしますか、実際は繰り越して実施するというので、27年度で使う見込みで3月補正のほうに計上させていただきました。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 45ページのまちづくり推進事業、活き生きまちづくり応援基金活用補助金、民都機構の分の1,000万という形で今年度上がっております。事業予定、今現在であるの

であれば公募をしてという形でしょうが、あるのであればお聞かせ願います。

○議長（泉 敏夫君） 千賀補佐。

○企画観光課長補佐（千賀和孝君） 現在、1件相談は受けておりますが、実施されるかどうかというところはわかりませんが、1件の相談を受けております。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はありませんか。7番、佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） 41ページの地方バス路線対策費です。

200円バスのことだと思うんですが、見ていますと観光客なんかも大変多く利用されているようですが、成果のほうはわかりましたらお知らせ願いたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 千賀補佐。

○企画観光課長補佐（千賀和孝君） 平成25年10月から200円バスを実施しまして、利用人員につきましては約1.5倍になったという報告を受けております。

運賃収入につきましては、200円に低減したことによりまして約75%に落ち込んだという報告を受けております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 51ページ、顧問弁護士委託料、今現在、伊根町は京都市内の弁護士事務所と顧問契約をされているというふうにお伺いしました。北部に法律相談センターとか弁護士さんも着任されております。私思うに、近いほうが相談もしやすく、いいのかなというふうに思うんですが、このあたりについて見解お聞かせ願います。

○議長（泉 敏夫君） 鍵総務課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいまのご質問ですが、まさに濱野議員のおっしゃるとおりでして、顔を合わせて相談する場合は近くの事務所があったほうが当然相談しやすいということになると思います。ただ、そこで業務をされる時間ですとか、現在、お1人で弁護士の先生、業務しておられるというふうに聞いております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 丹後ですか。今4人常駐しています。

○議長（泉 敏夫君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） そうですか、失礼いたしました。私の認識が不足しておりまして申しわけございません。

現在、私どもで契約させていただいております事務所も4名の弁護士と、そのほか事務員複数ということで、常に電話では確実にお答えをいただけるような体制になっております。

また、京都も、割と現在、近くなった関係もございまして、これまでの従来の流れの中で継続した、非常に心安く相談させていただけるという関係が構築できておりますので、こういった場合、込み入った相談や何かもさせていただく関係もありまして、なかなか新たに別のところというところに踏み切れていないという状況でございます。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 予算書65ページの民生費、社会福祉費のくらしの資金貸付事業で60万計上されておるわけですが、以前お聞きしましたところ、生活保護、生活困窮者の方に対しての貸付金というふうにお伺いしておるんですが、これ上限が幾らだったのかと、あと何名というか何件ぐらいの予定でこういう予算を組まれたのか、ちょっと教えていただきたいんですが。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 1件10万円の6件分を計上しております。現在、貸し出しについては10件程度ございます。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 77ページ、児童福祉施設費、こちらのほうの時間外勤務手当が昨年度10万円から一気に100万円と10倍にふえております。3月補正の関係でも同じようにふえておりまして、その中では何か研修会で発表しないといけない、その研修費用を今回組んだんだという説明いただいたんですけれども、当初予算についても同じような内容でございますでしょうか。

また、その発表するという内容を、もう少し具体的にどんなことをされるのか、28年度される

のか、もし同じ事業であれば、その辺お聞かせ願います。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 濱野議員のおっしゃるとおり、同様の人権研修に対する時間外の手当でございます。保育を実施しながら発表の準備をせんなんということで、どうしても時間外に打ち合わせ等が発生するというようになっております。

現在、テーマにつきましては、子供の支援が必要な方の対応の仕方についての研修と発表を予定しております。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑ありませんか。6番、大谷功君。

○6番（大谷 功君） 46、47ページの2款総務費 9目交通安全対策費の細かいことを伺いますが、負補交、細節11の消耗品費、例年ですとこれが二十数万、30万程度なんですけど、大きく83万円になっているんですけども、これの中身について教えていただきたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 鍵総務課長。

○総務課長（鍵 良平君） 消耗品の中身でございますが、今回、公衆街路灯をたくさん計上させていただいております。

例年、当初予算で20台程度分だったと記憶しておりますが、平成26年度は老朽化したものについては順次LED化を図っていくということで、26年、非常に多くのご要望いただいて、補正を2回ほどさせていただきました。従来ですと、ここで蛍光灯の交換ということになっておったんですけども、機器の老朽化したものについては全体の灯具を交換することなんですけれども、今回、LED化を進めていくということで、特に老朽化の進んだものにつきましては適宜LEDの灯具に交換しております。それで、若干値段も蛍光灯のものよりも高い状況でございます。

そういった関係で、例年よりも大幅な予算増になってございます。

○議長（泉 敏夫君） 2番、藤原正人君。

○2番（藤原正人君） 今のその言われた器具の老朽化の判断はどこでなされるのか、ちょっと教えてほしいんですけども。

○議長（泉 敏夫君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 区長さんからご連絡をいただきます。それで、区長さんのほうから公衆街路灯の交換の依頼書をいただきまして、それを受けて、私どもの職員が直接現地に赴きまして、目視確認でさびの状況などを確認させていただいております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 91ページの不法投棄対策事業、昨年度から通年実施になされたわけでございます。

海岸漂着物地域対策推進事業補助金が充てられているんですけども、伊根浦公園の、昨年も言いました伊根浦公園の前ですね、ごみが寄せられてきており、非常に公園として、写真を撮るときにすぐ下を見るとごみがいっぱいなんですよね。

これについても、せっかく海岸漂着物の補助金使われているわけでございますので、海についても何とか、その全域とするのは難しいかもわかりませんが、公園とか地域を絞ってでも清掃のほうに当たっていただくような形にはならないのかお聞かせ願います。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 濱野議員おっしゃいますとおり、伊根浦公園の周辺で確かに海底に空き缶が沈んでいるようなものが見受けられるのはちょっと確認をさせていただいておるところです。ただ、行政が直接海岸・海底にあるごみをということになりますと、なかなかその境が難しゅうございますので、全ての海岸線をということにもなりかねませんので、十分慎重に考える必要があるかなというふうに考えております。

ただ、行政としても一定の考え方を持って当たりたいというふうに思いますが、当面は例えば海の京都事業なり舟屋群の景観保全等の団体等ともちょっと相談させていただきながら、特に伊根湾については舟屋群の景観でたくさん観光客も来られますので、そういった方々ともちょっと行政、一旦協議させていただくなりして、海岸の周辺の清掃についてもちょっと考えていきたいというふうに考えておりますので、もうしばらく時間をいただきたいというふうに思います。

また、もしできますことであれば、この不法投棄対策の中で一定の、もし仕事が行政の中でできるという判断ができた場合には、こちらのほうの活用も検討してまいりたいというふうに考えております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 4月の終わりにはにっぽん丸が伊根町に寄港されて、伊根浦公園付近に船をまた着けられるわけですね。何百人という方があそこに来られて、今の状況で空き缶とかごみが現在でも既によく見える。岸から、タモですくうこともある程度はできると思うんですね。

日本で最も美しい村と名乗る以上、そういったことに対しても一定本当に整理をいただいて、きれいな伊根町にお迎えするような仕組みをとっていただきたいなというふうに思います。

あともう1点、87ページ、診療所あり方検討事業でございます。

毎年、予算計上されておまして、3月に今度、会議が開催されるというふうに聞いております。今回の27年度当初予算では、どのような方向性といいますか形を、最終年度にするのか、そうでもなくて、まだ継続して28年度、29年度、延々と続いていくものなのか、その辺について説明を求めます。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 濱野議員ご質問の診療所あり方検討事業についてでございます。

予算編成段階では、なかなかこの診療所のあり方検討の方針というんですか、方向性、どこまで、町長から諮問を受けておりますので、どこまで答申として返す必要があるのだろうかというようなことで、まだまだ先が見えにくかった部分がございますが、なかなか、診療所のあり方の細かいところまでいくと、もう数え切れないほどの検討課題もたくさんありますが、一定の大きな方針だけを例えば答申する方向もあるんじゃないかなというふうには、委員の方々、1月に開催した段階でご認識をいただいたんではないかなというふうに考えておるところでございます。

よって、この3月の年度末ぎりぎりにはなりますが、再度、診療所のあり方検討会、今、開催の予定をさせていただいて、委員にもご案内をさせていただいておるところですが、そこで委員の皆様方から一定の答申の内容についてご確認がいただけるのであれば、一旦診療所のあり方検討会としては、ひょっとしたら26年度の部分で一定の区切りをつけさせていただくことができるのかもしれないというふうに事務方としては考えておるところでございます。

ただ、委員の皆様方の十分な検討が必要ですし、さらに診療所のあり方検討会としての一定の見解が出た後でも、もちろん細かな診療所のあり方について、多くの課題・現状把握等も必要でございますので、その後もこれからの伊根町の診療所を考えていく上ではまだまだ検討する部分は、細かな検討をしていく部分はございますので、それは引き続き検討することになるかと思っております。

よって、26年度で仮にあり方検討が一定の区切りができた場合には、27年度のこの予算にいただきましたあり方検討会については、ひょっとしたら形を変えてのという用途になるかもしれませんので、そのあたりご承知おきいただきたいというふうに考えております。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 関連質問なんですけれども、私もこの間、あり方検討委員メンバーになりまして、初めて参加させていただいたわけなんですけれども、大卒の部分というのは、確かにある程度、成美大学の先生のお話であるとか与謝医師会の中川先生のお話とかご提言等もいただいておりますので、ある程度、本当に大卒のほうでは決まっていると思うんですけれども、なかなかこの重要なテーマで来ていただいているメンバーの先生方を見ると、どうしてもふだんお仕事されているので、夜の開催ということで限られた時間、非常に限られた時間で、短い時間でなかなか難しい話をしている検討委員会なんで、今、上山課長のほうからおっしゃっていただきました、28年度するならば形を変えてということは、メンバーをかえて、今策定している検討委員会の大卒の方針をもとに、もう少し集まりやすい町内のメンバーでやるというような形での会議のなり方になるやもしれないという認識でよろしいでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 先ほど和田議員からおっしゃっていただいたとおりの内容だというふうに考えております。よく町民の皆様のご意見も聞きながら、よりよい診療所のあり方を検討



していく、継続して検討していく必要があるというふうに認識をしております。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はありませんか。8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 83ページの母子保健事業ということで、不妊治療の助成費が出ておるわけですけども、昨年度の実績といいますか、どれぐらいの方が利用されておられるのか、また夫婦で、男性の方もこれ利用できるんですよ。お聞きしたいです。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 昨年度は、ちょっと記憶あれなんですけども、2件、一般の不妊治療はあったと記憶しております。

あと、男性不妊治療につきましても、10月から補助対象にすることとしておりますけれども、そちらのほうの利用はございません。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようであります。これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

ここで休憩したいと思います。11時5分までを休憩にしたいと思います。

休憩 10時51分

再開 11時05分

○議長（泉 敏夫君） 再開いたします。休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、第5款労働費から8款土木費を対象として質疑を行います。2番、藤原正人君。

○2番（藤原正人君） 99ページの新規就農総合支援事業なんですけれども、ここ二、三年度中に就農希望者とかがあったのか、もしあったなら、その経過等をちょっと教えてほしいんですけども。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 研修ではなく、就農のほうでございませうか。

○議長（泉 敏夫君） 2番、藤原正人君。

○2番（藤原正人君） 新規就農の希望者です。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 今回計上しておりますのが新規就農ということで、説明いたしましたように、今回の予算については、夫婦で就農される方が2組、それから個人の方が1人ということで3組の就農を計上しております。

最近では、大体2組から3組、同じような内容で就農されておりまして、その方々が最長5年まで就農できると、45歳まではいけるといいますので、その方々が推移しているというふうな状況でございます。

○議長（泉 敏夫君） 2番、藤原正人君。

○2番（藤原正人君） 今、就農されておる方以外ではそういう例がなかったですか、希望しますという方が。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 昨年ありましたが、27年度からは所得の制限がついてまいりましたので、それにぎりぎりの方、該当される方はおりましたが、本人から申し出がありまして、私は要りませんということでおられた方もおられます。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 109ページ、漁業開業支援事業、今回、私、この当初予算で一番うれしかったのがこの事業です。漁業者の支援ということで、新規就業について踏み込んでいただいて、国や府より先にこうやって予算を組んでいただいた。本当にありがたいことと思っております。

当初の初期費用として300万、船の購入とかそういったものに充てる費用ということをお伺いしております。具体的に、タイムスケジュール的に、いつごろからこういった事業を、4月からこういった事業がありますよと広く周知していくのか。

また、空き家の場合には空き家バンクという制度もあります。伊根町内、ずっと見ていくと、も

う使われていない船舶なんかも見受けられるケースもやっぱり中にはあるんですね。そういったもので、空き家バンクと同じような仕組みで、船バンクですか、船舶バンクですか、そういったことも一つとしては考えられていけるのかなというふうに思ったりします。

あと、漁具なんかについても同じようなこともできるのかなというふうに思うんですが、具体的にもう少し、こういったことを取り組んでいくということをお細かくちょっと教えていただけませんかでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 全協でもご説明いたしましたように、今年度の予算については初期投資分の支援事業ということで、1件分300万を計上しております。

また、今回、町長が打ち出した事業としましては、27年度から始まります海の民学舎の研修を受けた方、これは2年間ありますので、実際に就業されるのは2年後、29年度以降だと思われま

す。また、現在、京都府の事業を使って漁師さんのモーターの弟子になって研修を受けておられる方がございます。これについても該当するというので、この方ももう1年研修するようなことを聞いておりますので、実際にはこういう研修を受けられた方が新規に就業されることは今年度はまだないのかなと思っておりますが、そのほかにも、例えば息子さんとかそういう方々が新たに親の後を継いで個人事業をやるという方にも支援できるようにということでこの制度を立ち上げました。

具体的なスケジュールといいますか、もう4月から使えるような制度にしていきたいと考えておりますので、要綱がしっかりと定まり次第、広報してまいりたいと考えております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 今の説明ですと、海の民学舎に入校されていない、卒業証明というんですかね、そういったものがない方も一応対象にはなるという理解でよろしいんですか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 基本的には45歳未満で対象にはなりますが、漁業を営むには漁業権が必要になりますので、すぐに都会から来られて漁業権取得というのは、現在の状況では、京都府漁協では難しい実態があります。

ただ、先般、京都府漁協のほうでも少し緩和策を考えていただきまして、この方なら大丈夫かなという審議会を毎年春にさせていただきますので、そこで、伊根町は漁業権の取得価格が大変高いんですが、その5分の1程度を前金で払えば、あとは50年間働いて少しずつ積み立てていけばいいような対応をしていただけるように聞いておりますので、大分緩和されたと思いますが、やはり漁業権が一番のネックになるかなと考えております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） となると、この就業支援とかについては、漁業権があるかないかというところがまず条件として上がってくるという理解でよろしいでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） はい、そのとおりでございます。組合員、準組合員の別は問いませんが、漁業権取得見込みという京都府漁協の確認が必要となります。

○議長（泉 敏夫君） 2番、藤原正人君。

○2番（藤原正人君） 105ページの林業振興費の有害鳥獣対策事業なんですけれども、28年度より新規導入される電気柵、鉄柵の際には近くに捕獲檻を設置しなければならないと義務づけられるということをお聞きしとるんですけれども、現在ある檻の数でそれが足りるのか、また新規に導入されるのかお聞きしたいんですけれども、そういうあれをちょっとお聞きしとるんです。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） おっしゃいましたように、今回張られる柵の付近に捕獲檻を設置ということが指導されております。

現在、檻の状況でございますが、六十数基保管しておりますが、ほとんどが各地区に設置しております。今回、新たに10基程度、3月いっぱいでもた製作予定としておりますが、これについても設置地区がほぼ固まっておりますので、新たな電気柵の周りに設置するための檻というのは新た

に導入する予定はしておりませんが、猟友会さん等と協議をしまして、その近くの檻を移動するなりして調整してまいりたいと考えております。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 同じところなんですけど、有害鳥獣対策事業費ということで、大変毎年猿やイノシシといったところで困っておるわけですが、シカ捕獲強化事業報償金ということで4万円上がっておりますが、これの説明をお願いします。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） これにつきましては、国の補助事業でございます、鹿の捕獲した場合も報償金が出るということで計上しております。1頭当たり8,000円だったと思っております。一応5頭分上げておりますが、昨年も計上しておりましたが、執行はしておりません。

ただ、近年、鹿の鳴き声、被害等もあるということで、そろそろ出てくるかなということで、昨年も実績はありませんでしたが計上しておまして、ことしも同額、5頭分相当を計上しております。

○議長（泉 敏夫君） 2番、藤原正人君。

○2番（藤原正人君） 111ページの水産業費の漁港管理事業なんですけれども、本庄浦漁港の河口のところなんですけれども、そこは毎年、出港の際、困難ということで砂を揚げておるんですけれども、毎年のことなんで、さあ出ようというときに、特に潮が引いたときなんかは出られない状態が続くわけなんですけれども、いつでも出漁できるように、町より中古のコンボでも購入して、除去作業を地元の委託という格好は可能なのですか、無理なのですか。地元の方にも、免許資格持っておられる方もおるんで、いつでもできるような対応がとれたらなとずっと思ってたんですけれども、可能なのか、難しいのか、ちょっとお聞きしたいです。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 以前は、地元のほうでも中古の掘削機械を所有して、出漁したいときに出られない場合に掘っていたということがございました。

今の、同様にそういうことができないかということなんですけど、まだご要望がないので検討はしておりませんが、そういう購入支援がないとか、そういう要望をいただいたときは検討してまいりたいと思います。

また、今年度予算でも計上しておりますが、機械借上料とか浚渫費用をそのあたりで計上しておりますが、今までは業者に委託をして、1回当たりの浚渫料が高かったんですけど、地元のほうも運転手は地元でやりますので、機械のリース料だけ出していただけないかということで、そういうような予算組みもしておりますので、大分回数的にも浚渫回数がふえるような予算組みとしております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 115ページ、誘客対策事業、にっぽん丸のセレモニーということで昨日お伺いしております。

具体的にどのようなものを開催して、今報道されているような、何人の方が来られて、どこに船を着けられるのか、その辺について説明求めます。

○議長（泉 敏夫君） 千賀補佐。

○企画観光課長補佐（千賀和孝君） 4月30日のにっぽん丸の寄港についてですけれども、伊根町のほうから船会社のほうには、七面山物揚場にテンドーボートを接岸してはどうかという打診をしております。その場所でおもてなしをさせていただき、出航の際に地域演芸の披露をいたしたいと思っております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） おもてなしという大きなくくりでされましたので、おもてなしとは一体何なのかというのが今の説明ではちょっとわかりかねます。

あと、地域演芸、どのようなものを、今現在でもう既に恐らく、もう4月30日でございますので、団体のほうにも当たられているとは思いますが、とめていただいても結構ですので、説明をお願いします。

○議長（泉 敏夫君） 休憩します。

休憩 11時20分

再開 11時24分

○議長（泉 敏夫君） 再開いたします。休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続きご質問ありましたらお願いいたします。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 119ページ、観光施設整備事業、こちらの伊根浦公園前の車庫を解体されるというふうに説明を、一部として受けました。そこを駐車場にされるんだということをお伺いしました。

これ、スケジュール的には、一体いつごろに車庫の解体を始めて、駐車場地として整備されるのか、またこのところには電柱なんかを移転しないといけない部分も多分あったと思います。あと、防災無線のアンテナなんかもあるんですかね、たしか。その辺の絡みで、取り壊したことによって電波の入りがよくなったりとかいうことで障害が出たりとか、その辺はあるんでしょうか、お聞かせ願います。

○議長（泉 敏夫君） 千賀補佐。

○企画観光課長補佐（千賀和孝君） 解体に当たりましては、議員がおっしゃいましたとおり、まず電柱の移転を関西電力のほうに依頼したいと思っております。その状況を見まして、事業着手にかかりたいと思っております。

それから、防災無線のアンテナにつきましては、既に伊根小学校のグラウンド敷地内に整備しておりますので、今回の解体工事には支障がないものと思います。

それから、今回のこの事業につきましては、まず駐車場を整備するというものではなく、解体した後、当面の間、駐車場として利用したいという考えでございます。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 車庫には消防車庫も含まれるという理解でよろしいでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 鍵総務課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいま、第1分団の消防ポンプ自動車の車庫がございまして、これも一連のものとして解体をさせていただきたいというふうに考えております。

消防車庫につきましては、移転を考えております。ただ、新築という形になるかどうかといいますと、なるだけ経費のかからない形で、なおかつ出動しやすいということを想定した移転を、一定消防団の幹部の方々とは内々にお話を進めておるところです。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 移転ということですので、その部の範囲内でどこかの消防車庫を使って、そこを2階建てにするのかどうかわかりませんが、そういった形がとられるのかなど、予算計上されていませんのでと思うんですけれども、車庫と消防車庫は潰す。

その横の書庫がありますよね。これについては、そのまま残るという認識でいいのか、また何か計画みたいなのがあって、それも踏まえた上での車庫の取り壊しなのか、その辺についてお聞かせ願います。

○議長（泉 敏夫君） 千賀補佐。

○企画観光課長補佐（千賀和孝君） 書庫につきましては、再利用をするつもりで考えております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 書庫の再利用については、車庫の取り壊しと同じ時期に考えておられるのか、また全く別に、年度も変えて計画を今考えておられるのか、お聞かせ願います。

○議長（泉 敏夫君） 千賀補佐。

○企画観光課長補佐（千賀和孝君） できれば早く行いたいという思いは持っておりますが、協議がまだまとまっていないというのが現状でございます。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） となると、関電さんの協議が調って、車庫の取り壊しのほうだけが先に進むということも可能性としてはあるという認識でよろしいでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 千賀補佐。

○企画観光課長補佐（千賀和孝君） そのとおりでございます。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はございませんか。1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 予算書105ページの農林水産費の林業費の先ほど見ました有害鳥獣対策事業なんですけれども、18の組合で延長約5,305mというふうにお聞きしておるんですけれども、これは重立った、新規もしくはかなり延長するところの主要箇所であったら、ちょっとそこの辺になるのか教えていただきたいんですが。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 侵入防止柵設置の箇所でございますが、本庄上、本庄宇治、それから長延と、集落的には3集落で9団地といいますか、大体長延、本庄宇治、本庄上の集落内で設置を予定しております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 117ページ、舟屋の里公園管理運営費、工事請負費で、遊歩道、あと樹木について工事を行うということでお伺いしました。

樹木の伐採について、いつごろを予定されているのか、下の海の京都の交流施設の関係で、それに合わせた形とするのか、時期的なものもわかるようであれば説明をお願いいたします。

○議長（泉 敏夫君） 千賀補佐。

○企画観光課長補佐（千賀和孝君） 現在、遊歩道の周辺につきましては、道路防災の関係で用地買収を行っております。その手続が済み次第、工事発注等を考えていきたいと思っておりますので、用地買収の手続が完了次第というところでございます。

樹木の伐採が買収後と、周辺地の買収を今やっておるところでして、その手続ができ次第という時期になります。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 遊歩道の整備と、あと樹木の伐採が同じ時期になるという理解でいいんですよね、今の。用地買収の絡みがあるんで。

できましたら、その樹木の伐採については、今、舟屋の里公園のレストハウス前の展望台については、かなり平田側については樹木が生い茂って景観を損ねている部分があるんですね。これ、オープン当初とか、以前は木を切ったりとか伐採なんかもされていたようですけれども、ここも数年来、そこについては管理ができていない状況で、目にはございますでしょうけれども、できましたら、こうやって予算計上された以上、舟屋の里公園が一番人の多いゴールデンウィークに間に合うような形で伐採のほうができればなと思うんですが、その辺いかがでしょうか。

また、7月には京都縦貫道もありますので、その辺も含めて、海の京都博とかもありますので、含めて、そのあたりぐらいまでには遅くとも伐採していただけたら助かるなど、いいのかなと思うんですけれども、いかがでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 濱野議員がおっしゃっているのは、景観を損ねている支障木の伐採のことだと思います。

その土地につきましては、今回、のり面防災関係で用地買収をして、のり面対策を行うときに伐採するという予定としておりますので、なかなか遊歩道のとき、先行してというようなことには難しいと考えております。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はございませんか。6番、大谷功君。

○6番（大谷 功君） 100、101ページの6款農林水産費の1項農業費、京野菜生産加速化事業です。

パイプハウス7棟ということですが、補助率については今までと同じなのか、また事業主体はどこなのか、それから何戸の人がこれを建てられるのかということ、それからその上の需要対応型特産物生産支援事業ですが、色彩選別機とトラクター用アタッチメント、パイプハウスの資材整備というふうにお聞きしたんですが、パイプハウスの資材整備ということは、この事業でもパイプハウスが建てられるということなんでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 初めに、京野菜生産加速化事業の件でございます。

補助率は、これまでと同様に、ほんまもん京ブランド産地支援事業と中身は全く同じでございます。事業名が変わっただけでございます。したがって、補助率は55%で同じでございます。主体は、ハウス生産のみということで、受益者は3戸となっております。

また、もう1点の需要対応型特産物生産支援事業でございます。

これにつきましても、議員おっしゃいましたように、説明したとおり、パイプハウスの資材整備にも経費として支援が出ると聞いておりますので、計上させていただいております。

○議長（泉 敏夫君） 6番、大谷功君。

○6番（大谷 功君） そしたら、需要対応型特産物生産支援事業のハウス資材は、京野菜生産加速化事業に乗らないような小さな事業について、そこから出すという考え方でよろしいんですか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 議員おっしゃるように、京野菜生産加速化事業につきましては一定の要件がございますので、面積要件とか受益者戸数とかありますので、今回のように7棟、2カ年で14棟というような相当の規模がないと補助の対象になっておりませんが、需要対応型特産物生産支援事業につきましては、昨年の補正から上げておる事業でございますが、特にこういう振興4法いうんですかね、過疎地域とか山間地域、そういうところの手厚い支援を行うということで要件が大分緩和されております。

実際には、こんなことを言うてはなんですが、文章の書き方次第ではかなり広く受けていただけるような内容になるのかなと。ただし、上限額は1事業主体に150万が上限ということになっておりますので、これを精いっぱい活用していきたいと思っておりますので計上させていただいたところでございます。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 同じく、101ページの集落営農発展型農場づくり事業ということで、本庄宇治のライスセンター稼働のため機械設備を導入されるということで、今現在、ライスセンターの機械が使えないということで、今後、それを導入することによって使うことができるようになるんでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 27年度の事業で計上しておりますので、整備が早く進めば、法人の取り組み次第だと思っておりますが、秋に間に合うように取り組んでくれるのかなと考えておりますが、法人、まだできたばかりでございますので、そのあたりのスケジュールについては、まだ詳細には決定していないのかなと考えております。

ただし、3月末をもって農協のほうは撤退するということですので、そうすると伊根町には刈った稲を持ち込む場所がないということで、こういう地域の農業者が集まって法人をつかって、引き続きライスセンターを稼働していこうということで立ち上がっていただきましたので、これまでどおり使っていただけるような状態にさせていただけるものと考えております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） ちょっと関連する質問になると思うんですが、議会の中で農業の法人化すべきではないかという発言を私はずっとしてきたものがあります。

今回、農業生産法人ができることになった。今後、補助金をもらうためにできた団体が多々あるわけですね、今。それが、もう集約されてその法人に移行されていくというふうな、町としては施策を進める予定なのか、その辺について説明をお願いします。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 補助金のための法人ではないんですが、一応事あるごといいいますか、総会とか会議のたびに法人のメリット・デメリット等は各団体にはご説明申し上げます。そこで、ようやく筒川のそば生産組合が法人化されたりとか、今回新たに、当初から余りなかった団体でございますが、農業者が集まって、本庄地区を中心とした農業者で法人ができたということで、これからの国の補助事業のメニューとしましても、やはりこういう団体でないとなかなか補助が受けにくくなるのかなと考えておりますので、そういう方向に誘導といいますか、十分説明して、

メリット・デメリットをご説明申し上げて、こういう方向になっていくのかなと考えております。

○議長（泉 敏夫君） 7番、佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） 123ページの道路除雪事業ですが、今回の雪で、せっかく去年完成した大西の駐車場のフェンスが相当、除雪の雪で押されて潰れております。業者にかなりいい単価で除雪費は出ていると思うんですが、町といたしまして、もうしゃあないということで町が直すのか、業者に直させるのか、それとも保険があるのか、お聞かせ願いたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 基本的には、この除雪の単価につきましては京都府と同額の単価を常に採用させていただいておりますので、特に高い低いということはないかなと、近隣2市2町も同じ単価を使っておられます。

今回のそういう破損した場合ですが、運転オペの過失によるものであれば会社のほうに請求いたします。通常の除雪である場合、また今回、初めてのケースといいますか、初めての場所ですので、特に過失がないような場合は町で修繕するというようになっております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 99ページの農業振興費、これにつきましては、給食費の無料化によって地元産の給食利用推進事業補助金というのが廃止となっております。

この関係に鑑みましてちょっとお聞かせ願いたいんですが、地元産を今までから、従前から伊根町は給食のほうにずっと出してきた経緯がありますよね。今後についても、無料化になっても、それは今までどおり確保されている、補助金はなくなったけれども、確保されるという理解でよろしいですね。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 地産地消推進事業の関係で、給食費を町で支援していたという内容です。

これにつきましては、従来から学校、職場等でも地産地消推進協議会にメンバーとして入っていただいております。そこで、できるだけ地域内産材を活用してくださいということで、これまでできなかったものについても、どういう問題があってできなかったのかというような課題も抽出していただいて、それが伊根町内にある産材であったら、何とかそこが回るようにならないかというような検討をしておりますので、今後もこの協議会はずっと続けてまいりますので、地域内産材の利活用についてはこれまでどおり進めてまいりたいと考えております。

○議長（泉 敏夫君） ほかに。1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 予算書117ページ、商工費の13節の各海水浴場の施設清掃管理業務でお聞きしたいんですが、各海水浴場もしくは公衆トイレの清掃管理業務でばらつきがあるんですけども、これは建物の大きさとかシーズン間の使用期間、これによってこのばらつきがあるという認識でよろしいんですか。

○議長（泉 敏夫君） 千賀補佐。

○企画観光課長補佐（千賀和孝君） 施設の管理を委託している先による金額のばらつきでございます。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 119ページ、登録制通訳サポート事業、こちら通訳案内士の資格取得補助金、昨年度と同様、5名分が計上されておりますが、昨年以降、通訳案内士の資格を取得された方というのは実際にいらっしゃるのか、また見込みが今年度あるのかどうかお聞かせ願います。

○議長（泉 敏夫君） 千賀補佐。

○企画観光課長補佐（千賀和孝君） 平成26年度につきましては、1名の方がこの補助金制度を使いまして受験いただきました。通訳案内士につきましては、全国でも合格率が1桁台の超難関の資格となっておりますので、今回、伊根町で受験された方は合格できておりません。

来年以降につきましても、受験していただき、ぜひともこの資格を取得いただきたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 休憩します。

休憩 11時47分

再開 11時48分

○議長（泉 敏夫君） 再開します。休憩前に引き続き会議を開きます。

3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 119ページの公共土木事業の中で、屋外広告物条例の制定に向けた委員を今回委嘱して、それで審議をしていくんだというふうにお伺いしました。

京都府屋外広告物条例というのが平成二十何年でしたか、できております。伊根町のほうにおいても、同じような規則といいますか、何かあったと思うんですけども、これとの兼ね合い、あと何をされるのか、もう少し具体的な説明をお願いしたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 屋外広告物条例につきましては、現在は、伊根町は京都府の条例で伊根町内全部がその対象となっております。

しかしながら、京都府の条例では、市町村の解釈で市町村ごとに対応が、実際のところ、まちまちの状況がございます。緩いところもあればきつところもあるということで、そういうことも考えまして、また町長の屋外の看板等の整備もしたいという考えもございまして、伊根町独自の条例を制定して、伊根町だけの条例で規制をしていきたいということで、今回、審議会を開催する予定としております。

また、伊根町では町内一律にするのか、また伊根地区は伝建の保存地区にも入っておりますので、そことの兼ね合いをどうするのか、このあたりのすみ分けも、規制の割合も多少差をつけなくてはいけないのかなという問題とか、それとも条例ではなく、伊根地区については伝建のほうでまた協議していただいて、そちらのほうでの決まりをもう一度さらに再整備していただくのか、そういうことも含めて、まだ教育委員会とも全然調整はできておりませんが、伊根町全体を、まずは京都府の条例の縛りから伊根町独自の屋外広告物の規制の条例で縛っていきたいというふうに考えております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） となりますと、スケジュール的に言うと、27年度中にある程度取りまとめ、28年3月の第1回定例議会のほうでこの条例について提案があるという理解でよろしいのでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 今のところ、そのスケジュールで進めたいと考えております。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようであります。これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

休憩いたします。午後につきましては、1時から再開いたします。

休憩 11時51分

再開 12時58分

○議長（泉 敏夫君） それでは、再開いたします。休憩前に引き続き会議を開きます。

最後に、9款消防費から14款予備費を対象として質疑を行います。6番、大谷功君。

○6番（大谷 功君） 136、137ページの10款教育費、1項教育総務費の細節11節の消耗品費、医薬材料費、フッ素化洗口ですが、去年までもずっとフッ素を使っておったわけですが、今年度のフッ素化洗口いうやつと、違いというのはどういうものなのかなと思うんですが。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） フッ素化洗口につきましては、議員おっしゃられましたけれども、これまでから児童・生徒への洗口の指導は行っておりません。平成27年度から、新年度から新たに取り組もうとする事業でございます。その事業に要しますところの消耗品費や医薬材料ということでございます。

○議長（泉 敏夫君） 6番、大谷功君。



○6番(大谷 功君) 記憶違いかも知れませんが、たしか去年の予算書にフッ素という京都府の補助がたしかあったと思うんですが、間違っと思ったら申しわけないです。

○議長(泉 敏夫君) 梅崎次長。

○教育次長(梅崎 良君) 今回、予算計上しておりますこの事業につきましては、今、議員おっしゃられましたように、京都府の補助も受けまして実施をいたしますが、前年度までは、教育委員会部局におきましては、そのような補助を受けて事業を取り組んだということはございません。

○議長(泉 敏夫君) ほかに質疑ありませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番(濱野茂樹君) 135ページ、事務局費の中の伊根町子どもの安全を守る連絡会補助金、10万円ついております。

近年、同じような取り組み、ずっとされているわけだと思んですが、事業の中身と、あと最近痛ましい事件が相次いでおります。学校と警察との連携とか、いろいろ今取り沙汰されておりますが、それについては、この事業でそういったことを取り組んでいかれるのか、またその事件以降、今年度については新たに何か取り組む予定があるのかどうかお聞かせ願います。

○議長(泉 敏夫君) 梅崎次長。

○教育次長(梅崎 良君) 子どもの安全を守る連絡会ですけれども、事業としましては年5回ほど事業を実施いたしております。そのうち、2回につきましては連絡会の総会的なもので、年度の事業計画なり予算審議をさせていただいております。そして、2回ほど防災のパトロールを実施いたしております。

この連絡会は、子供たちの登下校の見守りというふうなところを主に取り組んでいる事業であります。また、防犯・安全セミナーというものもこれまでから実施をして、この宮津管内の防犯の取り組みとか、そのような形で保護者、また教員のほうに周知をしているということでございます。

昨今の痛ましい事件等につきましては、この連絡会とは切り離れた形で、学校のほうには教育委員会のほうから指示をし、子供たち、また保護者の皆さんにそのあたりの周知はしていっているというところでございます。

○議長(泉 敏夫君) 1番、和田義清君。

○1番(和田義清君) 予算書142、143ページ、教育費の小学校費の18節の教材で、さっきの説明会でiPadを7台購入して教育のほうに役立てるというふうにお聞きしました。

説明会のほうでは、詳細はまだ決まっていなくてすけれども、とりあえず1年間やって、何がしかの効果等があれば、ほかの2校にも継続して普及させていくように検討していきたいというふうにお答えいただいておりますけれども、このiPad7台というのは、学年はもう1年生から6年生を含めて、これを使用してというような事業内容になっておるのでしょうか。

○議長(泉 敏夫君) 梅崎次長。

○教育次長(梅崎 良君) iPad導入は、伊根小学校を、町で言いますと研究指定校みたいな形で、機器を購入して学習に活用していくということでございまして、現在2台あります。

新たに7台購入して、担任の先生を含め、教頭、校長も含めた中での機器の活用というふうなことで進めていきたいというふうにご考えております。

例を申し上げますと、体育の時間にiPadを持って、そしてダウンロードしてきて音楽を鳴らして、そこでダンスをさせるとか、現在、これまではCDなんかを先生がわざわざスイッチを押して行って、帰ってきて指導すると、ボリュームの音量も、行っては上げて下げたりとか、そういう手間もあったわけですけれども、それがもう手元で一瞬にして行える。また、先生が画像を撮って、子供たちにその状況を見せて、そして指導もできるというのが体育の授業でありますし、通常の授業でありますと、問題をまたダウンロードしたりしまして、子供たちに黒板を使ってそこで学習させると、そういうふうな形で取り組んでいきたいというふうな学校のほうの要望もございましたので、それを受け、伊根小学校で実践的に取り組んで、それを27年度中に本庄小学校、伊根中学校にも波及をさせていけたらなというふうにご考えております。

○議長(泉 敏夫君) 8番、上辻亨君。

○8番(上辻 亨君) 138ページの旧本庄中学校管理費ということで、草刈り業務1万2,000円予算が組んであるわけですが、グラウンドだとか学校の周りだとかを草刈ったりされ

と思うんですが、これくらいの予算でどの程度のことをされるんでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 本庄中学校の周辺の草刈り業務ですけれども、現在考えておりますのは、年に2回か3回ぐらいの時期に草刈り業務をするぐらいで、あとは教育委員会事務局なりで日々の周辺の管理等を行っていききたいなというふうに思っております。必要に応じて、草刈り業務については実施をしていききたいなというふうに思っております。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） グラウンドについては、かなりあそこのグラウンドは草が生い茂りやすいといえますか、フェンス際とか、かなり草が生い茂りやすいんですけれども、グラウンドについてはどうですか。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 旧本庄中学校のグラウンドにつきましては、府道のすぐ横にあります。通られる方も大変気にはされているというふうなことで、グラウンドの管理はしっかりとやっていきたいというふうに思っております。

グラウンド周辺の草刈りにつきましても、先ほど申しましたように、草の状況なんかを見ながら、その都度実施していききたいなと思っておりますし、グラウンドにつきましても、スポーツトラクターで除草なんかも行っていききたいなというふうに思っております。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はありませんか。1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 予算書の150、151ページの社会教育費の10款教育費、伝統的建造物群保存事業で5、250万の予算が上がっております。

説明のほうでは、14件予定ということで、予算のほうは前年度より107万ほど減額になっておるんですけれども、実際14件、改装なり改築の工事金額の予定で多少は変わってくるとは思われるんですけれども、この14件やったとして、大体何割ぐらいまで、要望といいますか予定の、改装なり改築の完成予定になるのか、もしわかったらお聞かせ願いたいですが。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 27年度の事業計画を立てていく中で、要望としましては20件ほどございました。そのうちの14件というふうなことでするので、7割というふうなことになります。

○議長（泉 敏夫君） 7番、佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） すみません、同じ関連した質問なんですけど、伝建物の、この間、火災がございました。伝統的建造物群の保存事業が始まったころには、建物の基礎については補助はしないということだったんですが、補助が出るようになりました。

それで、火災の類焼を避けるために不燃物を壁の内部に張るようなことに補助ができないかというようなことを考えますが、この点についてはどうでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 確かに、議員おっしゃいますように、伝建地区でこの間の火災で類焼が一番怖いわけですけれども、今おっしゃられました補助事業の中で、不燃材を使用してということは現在のところは考えておりませんし、全国的なことを調べているわけじゃないんですけれども、そのようなことはないというふうに思っております。

この伝建地区に限って言いますと、防災計画というものを27年度に計画したいなというふうな思いを持っております。その中で、どのような形で防災ができるのか、例えば板の厚みを、これまで例えば10センチだったものを20センチ、30センチの厚みにするとか、板の表面に防火材いうんですかね、塗料を塗るとか、そんなようなことも考えられるのじゃないかなというふうな思いは持っております。そのようなものも含めた計画というものを、今年度、作成していききたいなというふうに思っております。

それで、その関係につきまして、当初予算のほうには予算計上はいたしておりませんが、予算編成時期にはまだそのようなことを考えておりませんでした。今回の火災も受けまして、国のほうからも防災計画の計画をというふうな意見をいただきましたので、できましたらまた6月か9月の補正にでもそのあたりの予算の要求はさせていただきたいなというふうに思っております。

○議長（泉 敏夫君） 7番、佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） もう一つ、伝建物に関してなんですが、最近、木建にされて、サッシをやめて、見た目も古風な感じのええ家が改修でいろいろとできていますけれども、全体の見た感じが黒を主体にした伝建物とか、立石なんかでこの間ごろできたのはオレンジっぽい建物の家とか、今、日出地区でやっている建物はピンクっぽい色の建物とか、瓦の色は統一されているんですけども、外壁に関して、そういうさまざまな色を使われるのに関しては、規制というか何も考えていないのかどうか。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 外壁につきましては、基準の中で茶色または黒だったと思いますけれども、そのように基準を定めております。

壁につきましては、この伝建制度につきましては、以前の色が、例えば日出のピンクの壁につきましては、以前がそのような色だったというところから、完全な復元ではございませんけれども、復元をしていくという、旧来の形に戻していくというふうな事業の取り組み内容でございますので、そのような形で、その家がこれまでから持っている特徴というものを再現し、今後もその家の特徴を残していくと、そういうふうなところから、家によっては、また場所によって壁の色が違うというふうなことが出てくるのが今後もあるのかなというふうに思っております。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑ありませんか。8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 141ページのスクールバス運行費、この中に修繕費、修繕料というのが上がっております。また、145ページのこっちでもスクールバス運行費の修繕料というのがあるんですが、これの説明を求めたいんです。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） まず、141ページの修繕料につきましては、小学校のスクールバスでありまして、定期点検を含めたその中で修理箇所が生じれば、そこでその修理代というふうなことです。

145ページのスクールバスにつきましては、中学校の2台のスクールバスでございまして、小学校と同様に点検等がございますので、その時点での料金というふうなことでございます。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑ありませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） コンピューター教育推進費で、今年度、小学校、中学校ともにフィルタリングシステムを導入されるということでございます。あと、教育関連施設でパソコンを開放しているところ、使っているところ、子供たちが使えるところとなると、その図書情報室があらうかと思えます。

それについて、フィルタリングシステムはどのような形になっているのか、また、まだ未設定であれば、今後そういったことも含めて検討していくのかということと、もう1点、ちょうど平成17年に重伝建のほう、指定されまして10年たとうとしております。その中で、重伝建家屋、何件何件ぐらいが修景が済んで、今現在の進捗状況なんかをご教示いただければと思います。

また、10年という節目の年になりますので、それについて何か考えが、その先の10年を見据えた検討としては先ほどの防災計画も含まれるかもわかりませんが、何か検討されているのであれば説明を求めます。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 初めのフィルタリングの関係でございますけれども、ほっと館の図書情報室に1台、パソコンを設置しております。

このパソコンにつきましては、フィルタリングの導入はいたしておりません。

現在の利用状況なんですけれども、18歳未満の方の使用というのは本当にごくわずか。先日、ちょっと調べたんですけども、お1人の子供さんが2回という、今年度につきましては、そのような状況でもありますし、仮にフィルタリングをかけるとしますと、一般の成人の方の利用に制限がかかってしまうというようなこともございますので、そのあたりがあるということで、フィルタリングについてはかけていないというふうな現状をご理解いただきたいというふうに思います。

今後につきましては、管理人に、使用される子供さんというものは名前を書いていただいたり、

使用する時間なんかの制限も管理人のほうからしております。そのあたりで、一定のパソコンを使う時間の制限をできることによって、長期間使っているいろんなサイトに入っていくということは少しは防げるのかなというふうにも思っております。

今後につきましては、状況を見ながら、そのあたりについては検討していきたいというふうに思っております。

それから、2点目の伝建地区、伝建の修理の関係ですけれども、平成17年から10年たって、現在のところでございますと、件数的には26年度が終了いたしますと合計で94件ということでございます。全体の建物からいいますと、伊根地区、母屋、舟屋、蔵、土蔵、その他の建物を入れますと1,000件を超えてあるわけです。その中には、伝建物、非伝建物というのがございますので、今94件と申しましたのは、合わせての94件です、伝建と非伝建と。合わせての94件の修理件数でございますので、仮に1,000件ありますとすると、そのうちの94件、100件にも満たない、10%にも満たしていないというふうな、そのような状況でございます。

10年という節目の年を迎えておりますが、特にそれにかかわって、今年度、何かというふうなことは計画はいたしておりませんが、先ほども申しましたように、火災というふうな悲しい事件があったということで、先ほど申しました防災計画を樹立して、今後そのようなことを防げるような、そんな対策を講じていけたらというふうには考えておりますが、現在のところ、そのほかに何か特にとというようなことは考えておりません。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はありませんか。8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 131ページの消防施設管理費ということで、テレビの受信料が上がっております。これは、NHKの受信料を払っておるわけじゃないですね。

○議長（泉 敏夫君） 鍵総務課長。

○総務課長（鍵 良平君） NHK受信料を支払っております。

これは、消防団の詰所に、各分団ごとに一つずつは情報収集用、災害等、台風等に備えて待機される場合に天気予報やなんかをごらんいただいておりますと、この場合の必要な受信料ということで負担させていただいております。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思っておりますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

### ◎ 日程第3 議案第3号

○議長（泉 敏夫君） 日程第3、議案第3号 平成27年度伊根町国民健康保険特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。

なお、質疑は、慣例により国民健康保険特別会計事業勘定の歳入歳出予算を一区切りとし、伊根診療所勘定歳入歳出予算及び本庄診療所勘定歳入歳出予算を一区切りとし、合計二区切りとして行いますのでよろしく願いいたします。

それでは初めに、国民健康保険特別会計事業勘定の歳入歳出予算を対象として質疑を行います。質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思っておりますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、伊根町診療所勘定歳入歳出予算及び本庄診療所勘定歳入歳出予算を対象に質疑を行います。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 今年度につきましても、診療所への常勤医の着任はないと、年度期間中ないという理解でよろしいでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 来年度、平成27年度の途中からでも常勤はどうかというご質問ですが、現時点ではないものと考えております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 診療所あり方検討委員会で、この辺のことも踏まえているいろいろ検討されているとは思いますが、常勤の着任についてはもうあれですが、医師住宅、こちらのほうがずっとあいている状態であります。

であれば、先ほど商工費の中で半農半働とかいう新たな事業もありました。短期間で、1年間着任予定がないのであれば、1カ月とか2カ月単位で短期で貸せることも可能だと思うんですね、診療所の住宅であれば。伊根町を体験する上で、そういったものに使用するとかいう考えはあるのかなのか、お聞かせ願います。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 現時点では、常勤医師の居住がまだ確定が全然できておりませんので、医師が住居を使うということも全然決まってございません。

濱野議員おっしゃいますとおり、短期の利用なら本庄、伊根とも可能かなというふうに考えておりますので、余り補助金の縛りもないように考えておりますので、今後は伊根町の空き家対策、また先ほどの短期での利用ということも含めて検討を進めていきたいというふうに考えております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 日出に設置されている住宅については、家の中から魚釣りもできるようなこと、たしかうたい文句でも上げておられましたので、ぜひ海に近い生活ができるということで、漁業者の関係もあるでしょうし、海の民のもあります。前向きに検討いただければなというふうに思います。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 十分に検討していきたいと思っております。

先ほど、補助等はないというふうに申し上げましたが、起債のほうについては十分配慮しながら、利用のほう考えていきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思っておりますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

#### ◎ 日程第4 議案第4号

○議長（泉 敏夫君） 日程第4、議案第4号 平成27年度伊根町簡易水道特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はありませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 使用料の件でお伺いいたします。

別荘地の水道使用料について、今後も今の形態でずっといかれる予定なのか、またせんだって資料請求しました中には覚書のようなものもありました。これについて、どのように今現在、町としてはお考えなのか、ご教示願います。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 現在ある別荘地の水道使用料に絡むご質問でございます。

現在、その地域の代表者、管理しておられる方と協議をしております。進捗状況でございますが、最終的には伊根町は受け取るという姿勢を向こうに示してございまして、受け取るための資料を、これこれこういうものをつくってくださいということで全て提示しました。その中で、例えば平面図でありますとか、道路にどのような占有物件があるのかとか、そういう例示をしまして、それに基づいて作成をさせていただいておりますが、向こうの資料提出がなかなかおこなわれているというのが現状でございます。もうかれこれ3年、4年目ぐらいになってございまして、具体的な記載例もこちらから示してございまして、それが上がり次第、本格的な譲渡の協議になると考えております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 3年、4年、そういった経過ですと向こうには投げかけているけれども答えがない状況、もし出てきた場合には、恐らくかなりの、譲渡を引き受けた場合にしても、修繕

とかその辺も発生する可能性はあるということですよね。その場合には、改めて議会のほうで、予算も当然出ることでしょうし、説明いただけるという認識でよろしいでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 当然、給水区域も広がってまいりますので、そのあたりの認可申請も必要になってくるだろうと思います。そのあたりは、また認可申請業務も予算で上がってくると思いますし、そのあたりも含めまして、一定整理がつきましたら報告はさせていただきたいと考えております。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第5 議案第5号

○議長（泉 敏夫君） 日程第5、議案第5号 平成27年度伊根町下水道事業特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑ございませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第6 議案第6号

○議長（泉 敏夫君） 日程第6、議案第6号 平成27年度伊根町財産区特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はございませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第7 議案第7号

○議長（泉 敏夫君） 日程第7、議案第7号 平成27年度伊根町介護保険特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第8 議案第8号

○議長（泉 敏夫君） 日程第8、議案第8号 平成27年度伊根町訪問看護事業特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第9 議案第9号

○議長（泉 敏夫君） 日程第9、議案第9号 平成27年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

以上で平成27年度の伊根町一般会計予算及び7特別会計予算の全ての質疑が終わりました。全てを通じて何か質疑がありませんか。4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） 教育費についてなんですけれども、この春から本庄小学校が2複式になると思うんですが、何かそれに携わった予算などを組まれていますか。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 2複式になるということで、特に予算は計上いたしておりませんが、26年度中に、27年度、2複式に対応できるように黒板の設置とかという環境の整備はさせていただきますけれども、27年度は特に予算は組んでおりません。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑はありませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） ふるさと納税についてお伺いいたします。

最近、メディアとか通じて、特産品の豪華な懸賞合戦といえますか、そういったことがかなり見受けられるようになってきました。

我が町でも特産品を、我が町の場合はそこまで豪華とは言いませんけれども、自分たちのまちにあるものを特産品として贈呈しているわけです。

その中で、ふるさと納税をずっといろいろと研究とかする中で、今、新しい形としてクラウドファンディング型ふるさと納税というのが出てきています。これは、この事業に充てるから、こういったことをするからという形で集める事業なんですけれども、例えば、こちら佐賀県の玄海町というところであれば、1次産業活性化のために300万のふるさと納税を集めると、そこに対して1年間かからず大体303万円集めた。

また、これちょっと額が大きいんですけれども、日本では年間4万頭もの犬が殺処分されているわけですね。それに対して、あなたの税金を犬の殺処分ゼロのためにという、これもクラウドファンディングで、ある町が、広島県の町でございますが、集められた。これが、5,274万7,000円集められています。

これについては、寄附を受けられるNPO、登録したNPOが集めたわけなんですけれども、伊根町として、例えば今現在、舟屋の維持、環境保全とかいろいろ項目は既にあります。これをもう少し前面に出すことで、こういった事業にも、私、乗っていけないのではないかと。

というのも、先ほど伝建地区で火災の件ありました。そのときには、ヤフーニュースのトップ画面に伊根町の火災が出るわけですよ。今回の教育費の無償化でも、ヤフーニュースのトップ画面に出ました。それだけ、やっぱり伊根の舟屋というものが注目されているのであれば、それを生かしたふるさと納税の集め方ができるのではないかと思います。この辺についてお考えがあればお聞かせ願います。

○議長（泉 敏夫君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいま、濱野議員がご指摘、方法論の提言というふうにいただきました。

現時点では、そのような内容を詳しく検討したことがありません。ご指摘のとおり、今、舟屋の保存ですとか少子高齢化対策、その中で今一番多いのが、恐らく特に指定しないでいただくものだったと思います。

今回いただきましたご提言を十分に検討させていただいて、今後の政策展開に生かさせていただきたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質問ございませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

## ◎ 散 会

○議長（泉 敏夫君） 以上、本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

なお、17日の本会議につきましては休会をします。

最終日3月20日は午前9時30分から開催の予定で、冒頭一般質問を行いますのでよろしくお願ひします。

ご苦労さまでした。

散会 13時44分



会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

伊根町議会議長

署 名 議 員

署 名 議 員